

2016.3、4、5月号

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・ 第 11 回理事会の開催 P 1
- ・ 第 27 回合同講演会の開催 P 1
- ・ 小杉町 3 丁目東地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者
選定委員会の結果について P 3
- ・ 平成 27 年度 第 3 回都市基盤施設整備見学会の開催 P 4
- ・ 機構の活動状況 P 6

§ 第 11 回理事会の開催

去る 3 月 16 日、第 11 回理事会を都市計画会館会議室において開催いたしました。

当機構理事長挨拶、国土交通省 宇野都市計画課長の来賓挨拶の後、下記の議案が審議され、原案どおり議決、承認されました。

○理事会

議 案. 平成 28 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

従来の活動を基礎に据えつつ、都市再興戦略の推進、都市の国際競争力の強化、「コンパクトシティ+ネットワーク」のまちづくりの推進、都市の防災・減殺対策の推進などの動向を踏まえたまちづくりの課題に積極的に取り組むとの事業計画が承認されるとともに、事業規模約 1 億 8,300 万円の予算が議決されました。

§ 第 27 回合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会（地下研）及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第 27 回合同講演会を、4 月 12 日（火）15 時 30 分から都市計画会館において開催いたしました。

今回は、国土交通省都市局まちづくり推進課 中村 官民連携推進室長をお迎えし、「最近の都市行政の展開～平成 28 年度予算案と改正法案等を中心に～」と題してご講演いただきました。



当日は約 50 名の会員の方々が参加されました。

ご講演内容については以下の通りです。(講演資料は当財団 HP「会員ライブラリー」および UIT の HP「講演会」にアップロードされています)

【講演内容】

日 時：平成 28 年 4 月 12 日（火）15 時 30 分～17 時 00 分

会 場：都市計画会館 会議室（東京都千代田区紀尾井町 3-32）

演題名：最近の都市行政の展開

～平成 28 年度予算案と改正法案等を中心に～

講 師：国土交通省 都市局まちづくり推進課

官民連携推進室長 中村 健一 氏



ご講演：中村 健一 氏

（おもな内容）

1. 背 景 ～平成 27 年度の動き～

・大都市戦略～次の時代を担う大都市のリノベーションをめざして～

①「都市再生の好循環」の加速

② 大都市「コンパクト+ネットワーク」の形成

大都市圏の鉄道沿線における高齢者等が生活しやすい環境づくり

③「災害に強い大都市」の構築

・新たな時代の都市マネジメントはいかにあるべきか（中間とりまとめ）

コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成

コンパクトシティの推進に向けた施策の方向性・コンパクトシティ形成支援チーム

連携施策ワーキンググループ（連携 WG）について

コンパクトシティのモデル都市の形成・横展開

2. 都市再生特別措置法改正案について

・都市再生の制度に関する基本的な枠組み

・国際競争力・防災機能強化について

・コンパクトで賑わいのあるまちづくりについて

3. 平成 28 年度都市局関係予算について

・都市のコンパクト化の推進に向けた市街地再開発事業の拡充

・重点密集市街地等の解消を推進するための市街地再開発事業等の拡充

・都市再開発支援事業の拡充

・都市再生区画整理事業の拡充

・まち再生出資業務の拡充（PRE・既存建築物活用事業支援）

・民間まちづくり活動促進・普及啓発事業

・民間都市開発推進機構による金融支援の貸付限度額の拡充

・国際競争力強化・シティセールス支援事業

・災害時業務継続地区整備緊急促進事業費補助金

・国際競争拠点都市整備事業の拡充

・市街地整備事業



4. その他 ～国際競争力関係の動き～

- ・MIPIM について
- ・シティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）構想の経緯
- ・都市基盤技術等情報発信 Web サイトについて

本合同講演会は、今後も国土交通省・関係各課にご協力をいただきながら、開催して参ります。



会場での講演の様子



質疑風景<都市計画会館>

§ 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定委員会の結果について

本再開発事業は、武蔵小杉駅前のにぎわいの中心地で、土地利用は商業及び業務施設が中心である。しかしながら、新耐震基準を満たさない建物が大部分を占め、安全性や防災面等の課題を抱えるとともに、中心商業地にふさわしい高度利用が図られていない地域であり、幹線道路等公共施設の基盤整備が遅れ、駅へのアクセス上重要な位置に立地しながら十分な交通ネットワークが形成されていない地区である。

本事業では、土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、魅力ある複合市街地を形成し、川崎市の「広域拠点」としてふさわしいまちづくりを行う事を目的に整備を推進している。

当機構は、小杉町3丁目東地区市街地再開発組合が、再開発事業において、民間企業の技術力、専門的ノウハウ、活力等を活用するために、特定業務代行者選定業務を公平公正な第三者機関の立場として、企業体の資力信用、事業推進に関する協力支援・工事施工・未処分保留床・工事費等々について、民間事業者より提案を求め、提案内容等を審査する専門家による委員を委嘱して「小杉町3丁目東地区東地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定委員会」を設置致しました。

3回におよぶ審査委員会において、厳正かつ公平に審査をした結果「大成建設株式会社」の提案を組合に答申し、組合において協議した結果、特定業務代行者に選定されました。

【計画概要】

計画地 神奈川県川崎市中原区小杉町3丁目地内

区域面積：約 1.1ha

敷地面積：約 8,350㎡

延床面積：約 72,300㎡

主要用途：住宅、商業・業務施設、公共公益施設、駐車場等





§ 平成 27 年度 第 3 回都市基盤施設整備見学会の開催

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議では、皆様方の関心が高いプロジェクトを選定し、現地にて、当該プロジェクトのキーマンから詳しく説明して頂く見学会を行っています。

今回は「都市づくりについての技術研究論文発表と講演会」の翌日 2 月 5 日（金）に、（大阪府吹田市）万博記念公園内に“みんなの寄付金でつくる日本初のスタジアム”として完成したガンバ大阪の新スタジアム＜吹田市立吹田サッカースタジアム＞と、日本最大級の大型複合施設として話題の EXPOCITY ＜エキスポシティ＞の 2 か所についての交流見学会を開催いたしました。

今回は吹田市様、㈱ガンバ大阪様、三井不動産㈱様のご協力を得て 20 名の参加者を案内していただきました。

当日は吹田市立吹田サッカースタジアムに集合し、施設内の会議室にて㈱ガンバ大阪 本間智美様から当該事業についての概要説明および質疑応答を行いました。その後、スタジアム内の各所を視察しました。

その後、エキスポシティの会議室にて、三井不動産㈱ 鈴木達也様から、施設について概要説明および質疑応答を行い、施設内および敷地内を視察しました。

■吹田市立吹田サッカースタジアム ＜ガンバ大阪＞について

- ・ 建設費 140 億に寄付金を募った日本初のスタジアム
- ・ 新サッカー専用 収容人数は約 4 万人
- ・ IFA の基準をみだし、国際 A マッチ開催可能
- ・ 観客席とピッチとの距離は、国内で最も近い 7 メートル、ゴールラインまで約 10 メートル、最前列とピッチレベルの高低差 1.5 メートルで目の前で選手の白熱したプレーを堪能できる
- ・ 欧州のスタジアムを参考にして設計

● スタジアム建設手法

「国等に対する寄付金の確認」を利用し、スタジアム建設募金団体が寄付金で建設し、完成後吹田市へ寄贈した。管理運営は指定管理者制度を利用し、ガンバ大阪が実施。

● 建設概要

収容人数：40,000 人（JFA S クラス）
 タイプ：サッカースタジアム
 募金期間：2012 年 4 月から 2015 年 3 月まで
 建設工期：2013 年 12 月から 2015 年 9 月
 （22 ヶ月）

● スタジアムの特徴

- ①臨場感あふれるスタジアム
 ピッチに近く臨場感あふれるスタンド、全席屋



【会議室】ガンバ大阪 本間 智美 氏



【ピッチ視察風景】



【芝の育成を考慮】



【選手席】





根でカバーされるので雨天時等でも快適に観戦できる、回遊可能なコンコースで試合が楽しめるなど、観戦するための工夫が凝らされている。

②ヨーロッパスタイルのVIPフロア

高級感あふれるラウンジを設置、2000席のVIPエリアを完備、ヨーロッパのような多様な観戦、企業交流など社交の場としての利用も可能となる。

③環境に配慮

500kwの太陽光発電、雨水再利用、ナイター照明にはLED照明機器を採用。

④最先端のシステムを導入

基幹ネットワーク構築による顧客管理および販売管理、セキュリティ・音響・映像・放送での最先端システムを導入。

⑤防災地域拠点

自然エネルギーを活用した拠点整備、災害対策本部のバックアップ機能、災害用備蓄倉庫の設置と救援物資配送センターの役割、避難所としての利用（短期滞在800人／長期滞在300人）



【VIP席】



【VIPラウンジ】



【VIPルーム個室】

■ EXPOCITY <エキスポシティ>について

万博記念公園内に、ショッピングの他、新たに8つの大型エンターテインメント施設（水族館、映画館、遊園地、トレーニングジム、観覧車など）で、新しい発見や体験ができる商業施設空間を演出した。

特にファミリー層がゆっくり楽しめるような工夫により滞在時間の延長が可能になった。



三井不動産 鈴木 達也 氏



【施設内】商業施設



【施設内】電子掲示板に集まる人たち



【施設内】大阪万博の制服展示



【施設内】スタジオ



【屋外】水族館



【屋外】人気キャラクター



§ 機構の活動状況

2月		3月		4月		5月	
18	小杉町3丁目地区第2回特定業務 代行者選定審査委員会	11	小杉町3丁目地区第3回特定業務 代行者選定審査委員会	1	虎ノ門駅前地区第1回特定業務 代行者選定審査委員会	12	南小岩六丁目地区第1回特定業務 代行者選定審査委員会
		24	南2西3南西地区第1回特定業務 代行者選定委員会(札幌)	12	第27回合同講演会 ＜最近の都市行政の展開～平成28年 度予算案と改正法案等を中心に～＞	17	第28回合同講演会 ＜コンパクト・プラス・ネットワー クの本格的実施について＞
		30	小杉町3丁目特定業務代行者選定結果 組合答申	20	南2西3南西地区第2回特定業務 代行者選定審査委員会		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

2	中央区打合せ	2	名古屋市ヒヤリング	12	第27回都市みらい・地下研・UIT合同講演会 ＜最近の都市行政の展開～平成28年度予算と改正法案等～＞	13	八重洲分科会 WG
2	中央区八重洲分科会成果報告	2	中部地建打合せ	14	土木学会地下シンポ	13	地下利活コア会議
2	芝浦工大中村研打合せ	3	名古屋地下街調査	18	企画運営小委員会	17	第28回都市みらい・地下研・UIT合同講演会 ＜コンパクト・プラス・ネットワークの本格的実施について＞
4	国土省 国土情報課記者発表会立会	4	日比谷大手町調査	26	大阪分科会幹事会	24	地下研監査
12	大阪分科会京都市他ヒヤリング	10	エンジニアリング協会打合せ	27	地下利活コア会議	25	企画運営委員会・企画運営小委員会合同会議
13	京都地下空間調査	11	芝浦工大中村研打合せ	27	エンジニアリング協会・地下ガイドブック 発刊記念会	31	大阪分科会
15	尾島研打合せ	15	八重洲・有楽町地下街調査				
18	地下利活活動成果 UR ヒヤリング	22	地下利活コア会議				
22	地下利活コア会議	23	地下研懇話会				
26	土木学会地下シンポ	29	土木学会				
29	事業・国際交流・情報部会合同会議	30	コラボレート研究所打合せ				

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

4	都市づくりについての技術研究発表と講演会 H27年度第3回都市基盤施設整備見学会・都 市みらいプロジェクト説明会＜吹田市立吹田サッ カースタジアム(ガンバ大阪)・エキスポシティ＞	1	第27回合同講演会 募集開始	5	第27回合同講演会 募集締切	2	記念講演会・意見交換会 募集開始
5				12	第27回都市みらい・地下研・UIT合同 講演会＜最近の都市行政の展開～平成 28年度予算案と改正法案等を中心に～＞	10	H27年度監査報告会
				14	第28回合同講演会 募集開始	12	第28回合同講演会 募集締切
				25	第30回企画運営部会	17	第28回都市みらい・地下研・UIT合同 講演会＜コンパクト・プラス・ネットワー クの本格的実施について＞
						19	第32回技術研究発表委員会

《まちづくり情報交流協議会》

22	第11回まち交大賞 審査委員会	4	平成27年度 共同研究 依頼	1	ご担当者確認調査票 記入依頼	16	まち協議会 監事監査
		18	平成27年度 共同研究 締切	8	ご担当者確認調査票 記入締切	16	平成28年度 立地適正化計画実務勉強会 申込み 締切
		29	まち交マガジン 第17号 配信	11	まち交ネット 新ID及びパスワード 配布開始	16	平成28年度 立地適正化計画実務勉強会 質問事項 受付開始
				12	まち交マガジン 第1号 配信	25	平成28年度 立地適正化計画実務勉強会 質問事項 締切
				14	まち交マガジン 第2号 配信	31	まち協議会 第1回企画運営委員会
				21	平成28年度 立地適正化計画実務勉強会 案内送付		
				28	まち交マガジン 第3号 配信		

(一財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
プラザ江戸川橋ビル201号
電話 03-5261-5625
FAX 03-5261-5629
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関
する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間
の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力
ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭
和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他